

令和 6年度

事務事業評価表 (令和 5年度 の実績評価)

記入年月日
令和 6 年 4 月 16 日

事務事業名		指定文化財等維持管理・調査事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020501000903
						単独/補助	補助		090701
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	文化財課
総合計画の施策名		0205 文化財の保存活用						課長名	
政策名		02 生きがいを育む学びのまちづくり						グループ	文化財G
施策名		05 文化財の保存活用						担当者名	
手段名		01 ①文化財の保存							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	05	04	02	00	文化財保護事業		
法令根拠		文化財保護法、茨城県文化財保護条例、桜川市文化財保護条例							

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
文化財の維持管理や調査を行い、現状を把握してそれらを後世に伝えていく。 指定文化財の所有者が保存修理等を行う場合は、補助金を支出する。修理のための技術 指導を行う。 令和5年度実績 ・報償費 八柱神社他謝礼3件：55,000円、修理指導45,300円×2、22,650円×2 ・防災設備の保守点検補助金：30,000円 (総額のうち補助1/4分) ・小山寺応急修理工事補助金：748,000円 ・建造物保存修理補助金 鴨島五所神社本殿3,920,000円、楽法寺183,000円 ・防災施設補助金 八柱神社本殿110,000円、鹿島神社本殿64,000円	文化財の維持管理 現状の把握を行い、所有者の要望に応じて修理補助 (国・県・市費) を行う。文化財修理に必要な指導・助言等をし、適切な業者の選定などを行う。 防災設備の保守管理等に対して補助を行う。 指定文化財の維持管理に対して報償費の支出をする。 指定文化財・埋蔵文化財等啓発のため、標柱を作成する。 文化財の調査 指定の有無を問わず文化財の調査や確認を行う。必要に応じ専門家の指導を受け未定の場合は指定に向けて調査を進める等の作業を進める。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
市補助金は交付要項に基づき、補助金申請を行い、実績報告確認後、支出する。 市内の文化財を調査し、現状を把握する。	修理・保守点検件数	件	2.00	3.00	2.00	2.00	2.00
	調査件数	件	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
文化財	指定文化財の数	件	129.00	129.00	130.00	131.00	132.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
文化財を後世に引き継ぐ	修復・保守点検を終了した指定文化財の数	件	2.00	3.00	2.00	2.00	2.00
	作成した案内標柱の数	本	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	212	5,346	199	
		事業費計 (A)	千円	212	5,346	199	
	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人		

事業費の内訳	05年度事業費 実績 (千円)			06年度事業費 予算 (千円)		
	07 報償費	191		07 報償費	169	
	14 工事請負費	100		18 負担金補助及び交付金	30	
	18 負担金補助及び交付金	5,055				
	合計	5,346		合計	199	

(4) 当該年度の実施内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	小山寺三重塔防災設備保守点検補助30千円 八柱神社ほか報償費3件：55千円 修理指導謝礼：114千円	小山寺三重塔防災設備保守点検補助30千円 八柱神社ほか報償費3件：55千円 修理指導謝礼：114千円	小山寺三重塔防災設備保守点検補助30千円 八柱神社ほか報償費3件：55千円 修理指導謝礼：114千円

事務事業名	指定文化財等維持管理・調査事業	事務事業No.	20501000903	所属課	文化財課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
優れた文化財を後世まで保存するため、継続的に調査・修理を実施している。開始時期は明らかではないが、事業を続けることにより、市民の文化財に対する関心も深まっている。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
年間で2～3件の修理要望がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 文化財の適正な保護や歴史文化への理解を深めることに結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 文化財の適正な保護について公共関与が失われると、これらの文化財の維持管理が困難となる。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 修理が必要な文化財は多く、成果向上の余地はあるが、所有者の資金確保及び市・市の予算確保が困難である。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 廃止した場合、文化財の維持管理に大きな支障をきたす。	
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 修理専門業者と相談しながら事業費の削減を進めている。	
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 対象は指定文化財であり、所有者の負担軽減を図ることで文化財の維持・継承がなされている。また、修理された文化財は市民向けに一般公開されている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	修理要望は毎年あるが、予算が限られており、破損状況などの優先順位を見極め、計画的に進めている。 今年度は鴨鳥五所神社の修理計画1件及び未指定文化財仏像「木造業師如来立像胎内納入印仏」の現況調査1件について、県文化財保護審議会委員による指導を受けた。																							
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 修理が必要な文化財の現況調査と修理事業を計画的に進めることにより、適正な保存管理状況を維持し、公開活用の効果を向上させる。		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低下</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×		低下			×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上			○																					
	維持			×																					
	低下			×																					
(6) 事務事業優先度評価結果		①																							
成果優先度評価結果																									

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>